

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	市民アンケートによるとひらつかの自然の中で最も海に魅力を感じるという結果が出ているところであり、市民ニーズは高い。利用者の利便向上が不可欠である。	● 高 ○ 低
有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	利用者の利便向上を目的とし、新港駐車場とのネットワークを図るものであり、ビーチパークの利用促進が図られる。また、散策路の整備により誰でも楽しめるさんぼやジョギングなどの利用が促進される。	● 高 ○ 低	
妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	平塚の海を観光資源として魅力を高める必要がある。	○ 高 ● 中 ○ 低	
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	海岸管理者である神奈川県と役割分担を進め効率よく事業を進めている。	○ 高 ● 中 ○ 低	

今後に向けた課題の分析

イベント数、来場者数の増加はあるが、PRを積極的に発信し広報活動に力を注ぎたい。また、誰もが参加しやすいイベント内容と成るよう指定管理者に働きかけて行きたい。浜辺のさんぼ道については、維持管理費用の増加が見込まれるため、管理費用を抑える整備を進める必要がある。

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				浜辺のさんぼ道の整備	浜辺のさんぼ道の整備	ビーチスポーツエリアの拡大		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	8,000	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	1,943	49,000	49,167	0	0
事業費 (A)		0	0	1,943	57,000	49,167	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	7.15				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.55	0.55	0.55	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	4,616	4,616	4,616	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	6,559	61,616	53,783	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性

○現状の規模で継続 ●拡大して継続 ○縮小して継続 ○廃止 ○休止 ○終了 ○他事業と統合

<判断理由>

ビーチスポーツへの来場者数増加に伴い、スポーツエリアの拡大や大きな大会が開催できる観客席等の施設整備が必要となってくることから事業の拡大を図っていく必要がある。

平成21年度取組方針

ビーチスポーツエリアの使用料徴収等利用者からの負担を検討する必要がある。

課長コメント

平成20年度より指定管理者制度が導入され民間活力により一層の利用者増が見込まれるため、ビーチスポーツエリアの拡大や海岸全体の利用計画を策定する必要がある。